「弓部大動脈手術の術後経過にあたえる周術期因子の検討」のお知らせ

弓部大動脈瘤に対する外科治療として、弓部大動脈人工血管置換術が行われていますが、本術式は低体温循環停止や選択的脳灌流といった特殊な体外循環法を用いることもあり、重大な全身合併症が起きやすいことが知られています。しかし実際には、麻酔領域において、術後経過にあたえる周術期因子を検討した結果はあまり報告されていません。そこで今回、こうした患者さんの周術期の経過を検討する研究を計画しました。

＜研究対象＞
2013 年 4 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までに当院で麻酔科管理のもとで弓部大動脈人工血管置換術を受けられた患者さんを対象とします。

＜研究期間＞2024 年 2 月 28 日までを予定しています。

＜研究内容＞
年齢、性別、身長、体重、既往歴、病名、術式、血液検査結果、心臓エコー検査結果、心臓カテーテル検査結果、内服薬、手術時間、人工心肺時間、低体温循環時間、選択的脳灌流時間、術中イベント、術後合併症、術後在院日数、退院時転帰などの情報を診療録などから収集します。

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。また特定の個人を識別することができないよう、研究対象者に番号を付与したうえで、対応表は研究責任者が鍵の掛るキャビネットに保管します（連結可能匿名化）。研究結果はまとめて、学会や出版物として公表することがありますが、その場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。 本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお申し出ください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2021 年 1 月 25 日

京都桂病院　麻酔科　部長　小山　智弘
副部長　深川　博志